

委託費支出明細書

1. 委託事業名	平成17年度砂漠化防止対策技術の移転手法等検討調査委託業務		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>1992年の地球サミットを受けて1994年に採択された砂漠化対処条約では、砂漠化問題への取組の一環として、地方の伝統的な技術や知識の保護、利用等(以下「伝統的知識の活用」)のための研究と技術移転が謳われている。こうした伝統的知識の活用に関しては、同条約の下で科学技術委員会(CST)で議論されてきているが、1999年と2000年には、より詳細に検討するため各国の専門家からなる特別小委員会がCSTの下に設置されている。これらの議論の中で、伝統的知識は活用される状況に応じた活きた知識であり単にリストアップすればよいというものではないこと、伝統的知識の活用に当たっては住民参加型のボトムアップアプローチが必要であること等が指摘されている。今後は、伝統的知識の活用に関する具体的な方法論の構築が求められているところである。我が国も1998年に同条約を受諾しており、先進締約国として砂漠化問題に取り組んでいかななくてはならない。</p> <p>よって、本業務では、同条約への貢献を念頭に、伝統的知識が活着している砂漠化対処のための在来技術・簡易技術について、他地域への移転手法を中心に、その地域的な普遍性や固有性に留意しつつ、具体的な事例に基づき、その効果的な活用方法の検討を行うことを目的とした調査業務を実施した。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1) 過去の技術移転事例の整理</p> <p>2) パイロット事業の実施</p> <p>NGOと連携し、西アフリカのブルキナファソ国において、在来技術・簡易技術の移転に関するパイロット事業を実施した。</p> <p>具体的には、現地で活動を行っているNGO(緑のサヘル)に、次の事業を委託した。</p> <p>() 対象とする村の選定</p> <p>() 村民による他村視察</p> <p>() ワークショップ方式の住民協議等による対象技術の選定及び現地活動実施チームの編成</p> <p>() 現地活動実施チームに対する技術指導</p> <p>3) 検討委員会の運営</p> <p>パイロット事業の実施に対する提言、情報提供、結果の分析等を目的として、学識経験者、NGO等から構成される検討委員会(5人程度)を東京において2回開催した。</p>		
3. 委託先の公益法人の名称	財団法人 地球・人間環境フォーラム		
4. 委託費の額			10,234 千円(A)
5. 委託費における管理費			
(1) 人件費			3,359 千円
(2) 一般管理費			674 千円
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
		千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
	合 計	4,033 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再委託されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
	パイロット事業実施	緑のサヘル	4,099 千円
			千円
	合 計		4,099 千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	諸謝金	検討委員	140 千円
	旅費交通費	職員 / 検討委員	1,360 千円
	印刷費	印刷発注先	51 千円
	雑役務費	翻訳発注先	0 千円
	消耗品	文献購入	24 千円
	借料損料	検討会会議室借り上げ	39 千円
	合 計		1,614 千円
7. その他			
	内 容	金 額	
	消費税	487 千円	
		千円	
		千円	
	合 計	487 千円	
8. 再委託の割合			40 % (B / A)